

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和3年度第2回加東市文化財保護審議会
開催日時	令和4年3月19日(土)午後3時00分から午後5時00分まで
開催場所	加東市東条公民館2階第2研修室(加東市岡本1571-1)
出席及び欠席委員の氏名	(出席委員5人) 瀧原 務、神崎壽福、湖内克利、米田 豊、中西正和、小山真永
説明のため出席した者の職氏名	無し
出席した事務局職員の氏名及びその職名	加東市教育委員会 教育振興部 部長) 田中孝明 生涯学習課 課長) 長田徹、副課長) 三和田剛浩、係長) 岸本素直、主査) 藤原光平
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	議題、会議結果、会議の経過及び資料名 I 会議内容 (1) 報告事項 ・ 令和3年度加東市文化財事業の報告について (2) 協議事項 ・ 令和4年度加東市文化財事業の計画について (3) 現地視察 ・ 令和3年度加東市文化財企画展 II 会議の経過 別紙のとおり

令和4年 5月 13日

署名人 瀧原 務

署名人 湖内 克利

(別紙)

令和3年度第1回加東市文化財保護審議会 会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	1 開会
会長	2 会長挨拶
事務局	3 報告事項
	・ 令和3年度加東市文化財事業の報告について
	＜質疑・意見等＞
	なし。
委員	4 協議事項
	・ 令和4年度加東市文化財事業の計画について
事務局	＜質疑・意見等＞
委員	後継者育成事業の執行方法はどのように行っているのか。
事務局	例年は各団体が本番の行事を行った段階で交付決定額を支払い、その後実績報告を受けた段階で精算手続きを行っている。ただし、ここ2年ほどは新型コロナウイルスの影響により本番を行っていない団体がほとんどであることから、練習や打ち合わせ等でかかった必要経費を実績として報告いただいた上で、精算して支払っている。
	＜異議なし＞
委員	令和4年度の加東遺産講座の内容については、市内の学校教育、特に社会科教育の教材としても非常に価値の高いものと考えられるので、開催にあたっては教育関係の方々に案内が届くように検討していただきたい。
事務局	こちらも参加者を多く募りたいと考えているため、開催日程が決まり次第しっかりと周知を行っていきたい。
委員	その内容と関連して、加古川の船着場等については河川改修によって形状が変更しつつあり、できる限りの保存を望みたいが、そうした状況についても普及・啓発していただきたい。
事務局	河川改修工事にあたっては、市内の船着場の遺構を記録する必要性を感じており、工事主体者である国の河川事務所と協議して航空写真撮影を実施する等、必要な調査を進めていきたいと考えている。
	＜異議なし＞

	<p>5 その他</p>
<p>委員</p>	<p>近年、文化財保護法の改正が行われ、策定が推奨されている文化財保存活用地域計画について、加東市でも作成を検討する必要があると思うが、まず、この計画はどのような制度で、どういった流れで作成していくものなのか、簡単に説明していただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局より制度及び作成の流れについて説明。</p>
<p>委員</p>	<p>周辺自治体では、既に策定が完了したところもあれば、現在作成中で基礎データを集めるための悉皆調査を実施しているところもある。加東市でもそうした作業を進めていく必要があると感じるが、計画作りを進めている自治体のほとんどは文化財の専門職員が複数名配置して事業を推進している。そうした計画作りを推進し、また、作成した計画に記載された事業を円滑に実施していくためにも専門職員の配置の充実を要望したい。</p>
<p>委員</p>	<p>いきなり正規の専門職員を雇用するのが難しければ、きちんと専門的な教育を受けて学芸員としての適性のある方をアルバイト等で手伝いとして雇用して事業の内容を充実していくことは検討する必要があると考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>いただいたご意見については、事務局で精査した上で、事業内容に反映していきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p> <p>この後、現地視察を行うので、会場での内容は、これを以て終了する。</p> <p>6 現地視察 令和3年度加東市文化財企画展</p> <p>7 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>